

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
里庄町放課後等デイサービス事業所「ほかほか」		令和7年 3月 17日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	1. クールダウン部屋・学習部屋等使分けができるようにしている。 2. 人員に対する広さを確保している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	1. 個別対応できるように職員配置している。	1. 個別対応が多い日の人員配置。 2. 定量的には問題ないがこどもの状態となると人員不足。 3. 個別対応が必要なこどもを受け入れているため不足している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3		1. 気持ちを切り替える空間がない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	1. 問題発生時、職員間で協議し必要具を購入で対応。 2. 環境整備や、空調調節、カーテンの使用等、活動に合わせ、環境設定を行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	1. 学習時やプログラム実施時、こどもが個別対応を希望した場合等状況に応じ、部屋を提供している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	1. 職員に意見を出してもらい、職員間で検証している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	1. 保護者からの評価を実施し、その意見をもとに改善することに努めている。	1. 機会は設けているが、つなげれていない。 2. 把握しているがすべて療育活動に反映できていない。今後反映する。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	1. 日々ミーティングを実施し職員間で情報共有している。 2. 職員会議等で確認する機会を設け、意見しやすい環境を整えている。	1. 定期的職員会議と問題事項が起きた時の臨時会議が行えると良い。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	1. 研修案内を回覧する等し、積極的な参加を促している。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	1. HPや事業所内に掲示するなどしている。	1. 現在作成中(公表済)。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1		1. 保護者との面談は出来ている様だが子ども自身と面談する機会が必要。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2		1. 日々の療育に追われ充分な情報共有がとれにくい。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3		1. ツールを使用しているが改良・改善していく必要あり。 2. 他事業所へ見学に行き、どのようなアセスメントツールを使っているかを聞き、自事業所でも参考にしたい。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	1. 本人、家族に話を聞き、プランに反映させている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	1. すべての職員に意見を求め、プログラムを検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	1. 参加したこどもがなるべく重ならないよう、曜日や内容を検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	1. こどもの状況に応じ、個別・小集団・集団活動を組み合わせ、プランに反映させている。	1. 個別の対応はしているが、個別のプログラムは時間的、人員的行うのが難しい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	1. 午前・午後と2度実施している。 2. 毎日ミーティングをし、その日のプログラムや分担を共有している。	1. 概ね出来ているが、その日の個別情報がもう少し得られると良い。 2. 勤務時間の都合もあり、足りていない日もある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	1. その日の状況で、出来ていない時は次の日の朝必ず実施している。 2. 毎日ミーティングをし、気づいたことを共有し、次のプログラムや支援に反映させている。	1. 振り返りの時間が取れない、個々での話となり職員全員の周知が不足。 2. 打合せは勤務時間の都合もあり、足りていない日もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	1. 毎日記録を作成し、反省や改善点などを共有し、次の支援に反映させている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	1. 本人や家族への聞き取りを丁寧に行う、本人や家族が話しやすいよう、時間設定や環境調整を行っている。	1. 令和6年9月～10月のみ行っていた。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	1. 地域交流で地域の方に来てもらい活動に参加してもらっている。 2. 迷ったときはガイドラインを振り返り、適切に支援が行われているか確認している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	1. 「やってみよう」で子どもたちやってみようを選択させている。 2. 子どもたちで遊びを決め、ルールを考え、実行している。 3. こどもが自分で判断できないときは、選択肢を与え、その中でこどもが自分の思いで選ぶことができるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	1. 管理者・児発管が参加している。 2. 必要に応じ、児発管だけでなく、保育士や児童指導員等も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	1. 困ったことやわからないことは関係機関と連携し、ケースを通してネットワークの構築を図っている。	1. していないわけではないが、学校と時間が合わず、時間を合わせる工夫が必要。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	1. 下校時刻表をもらう、トラブル時には電話で連絡を行っている。 2. 必要に応じ、学校と情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	1. 必要に応じ、関係事業所と連携している。	1. 4月の利用について、調整中。 2. 必要に応じ、関係事業所と連携している。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	1. まだ移行支援の実績はないが、高校2年生の児童がいるので、今後の進路に向けて、状況を家族に確認し、プランに反映させている。	1. 卒業を迎えた利用者がまだいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		1. 事業所訪問等を通して、連携体制を構築していきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	1. 地域の学童と交流している。 2. 地域の学童クラブから行事の案内をもらっており、交流の機会を設けている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	1. 可能な範囲で参加し、横のつながり強化を図っている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	1. お迎え時に毎回話をさせてもらっている。 2. 毎日のミーティングで情報交換をし、支援に反省させている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		1. 3学期に実施予定。 2. 今後は行政のPHNや児童発達支援センターなどと連携しながらPTも実施したい。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	1. 契約時に説明し、質問する機会を設けている。その他随時家族から問い合わせがあれば対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	1. 療育中や保護者のお迎え時、モニタリング時等に子どもや保護者の意向を確認している。	1. R5.4～6月、R6.9～10月は行っていた。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	1. 個別支援計画を保護者に提示しながら内容を確認し、保護者から意見があれば変更している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	1. お迎え時、悩みを相談する機会を設けている。 2. 保護者からの申し出があったときや保護者および子どもの様子から面談が必要と判断した場合は、こちらから声をかけ面談をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	1. 茶話会を実施し、保護者同士の交流の場を設けている。	1. 2回開催したが参加数が少なかったため、改善が必要。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	1. 管理業務職員二人が迅速に対応している。 2. 保育士・児童指導員に対し、保護者からの申し出があった場合は、管理者および児発管に報告するよう指導している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	1. 支援システムを使い、保護者に通知している。	1. 不定期になってしまっている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	1. デスクの上に置かない、書庫は施錠する等、第三者の目に触れないようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	1. 一度に複数の情報を伝えない、絵カードを用いる等、それぞれのこどもや保護者の特性を理解し、伝え方の工夫をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	1. 地域の方に遊びを教えてもらい、一緒に畑をする、地域の公共施設に出かける等を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	1. 年に2回、防災・避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	1. 契約時には必ず確認している。その他状況に変更があったときやモニタリング時等に聞き取りを行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	1. 現在受け入れはしていないが、今後そのようなこどもが利用する場合は徹底する。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	1. ヒヤリハットしたことが発生した場合は管理者と児発管に報告するとともに報告書を作成し、職員間で対応についての協議をしている。	1. ヒヤリハット後の再発防止の情報共有が曖昧になる事もある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	1. 年1回研修を行い、虐待防止の意識の醸成につとめている。	1. 今年度はできていない。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2	1. 支援計画に記載し、保護者に説明了解を得ている。 2. 現在身体拘束が必要なこどもは利用していないが、今後発生した場合は必ず計画への記載と保護者への説明・同意を徹底する。	